



タウンと



『特認校制度で立小野小に3人が編入学』

特認校制度を実施している立小野小学校で、今年4月、3人の児童が編入学をしました。

三年生の久富木拓也君が野方小学校から、同じく三年生の福原千愛さんが大崎小学校からそれぞれ編入し、また、久富木拓也君の弟の直哉君が新一年生として入学をしました。

木原校長は、「立小野小に新しく仲間が3人も増え、活気が出てきて大変喜ばしく思っています。学校側として、精一杯のことをやっていきたいと思ひます。また、3人の児童には、ほかの児童とともに立小野の豊かな自然の中で、のびのびとたくましく育ててほしいと思ひます。」と、今回の編入学を喜んでいました。

『中倉君がメドレーリレーで九州大会No.1』

鹿児島市の鴨池公園プールで第24回全九州スイミングクラブ春季水泳大会が開催され、志布志ドルフィンスクラブ(選手約40人)に所属する中倉昂大君(柘岡)達のチームが、200メートルメドレーリレー10歳以下の部で見事優勝しました。

中倉君は、メドレーリレーメンバーの4人のうち最終泳者として活躍し、今回の優勝について、「すごく嬉しいです。この優勝を励みにこれからもがんばっていきます。」と大いに喜んでいました。

九州大会1位という快挙に関係者の方々も大変喜んでいて、また、志布志ドルフィンスクラブとしても、九州大会での優勝は初の快挙だとのこと。



『90歳！今でも現役です』

飯隈の瀧田タケさん(90歳)は、今でも毎日、クワを片手に畑で農作業をしています。

腰も曲がらず動きもテキパキとしていて、裸足で畑に行っては、野菜や陸稲、小麦、小豆などを作り、雨の日には、庭ぼうきなどを作って、近所に配り、みなさんに喜ばれています。

義娘の道子さんも「小麦や小豆など、自分の畑で採れたものを使って団子などを作ったりしていて、いろいろ教わる人が多いんです。」と話されていました。

一年中、体を動かしている瀧田さんは、「じっとしていないで、体を動かすことが元気の秘訣です。これから先も、一日でも長く働きたいと思ひます。」と笑いながら話されていました。



『鹿児島イーグルスがボランティア』

大丸運動公園を拠点に練習をしている硬式野球チーム、鹿児島イーグルス(侯瀬竜三監督・選手14人)は、3月24日、父兄と一緒に大丸運動公園周辺の清掃を実施しました。

当日は、かなりの量のごみが集められ、ごみ袋で60袋以上になり、その中には、テレビなどの粗大ごみもありました。

鹿児島イーグルスの久徳輝幸さんは、「いつも大丸運動公園を利用させてもらい、その感謝の意を込めて、毎年4回、シーズンごとに、このボランティア作業を父兄とともにを行っています。これは、子ども達の奉仕作業の精神を養うことも目的の一つになっています。これからも続けていきたいと思ひます。また、このチームに1人でも多くの子が加入してくれることを望んでいます。」と話されていました。

